国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和８年11月６日
国土政策局地方政策課

“地域活性化へ”官民連携基盤整備の支援事業を決定

～民間と自治体が連携して取り組むインフラ整備の事業化検討を支援します～

国土交通省は、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）」の令和８年度第３回配分として、地方公共団体が実施する１件の調査（都市）の支援を決定しました。

本事業は、民間の設備投資等と一体的に計画される地方公共団体のインフラ整備（道路・河川・公園・市街地整備・港湾・空港等）の事業化検討を支援するための制度です。

配分先：地方公共団体

補助率：１／２以内

【添付資料】

・別添１　令和８年度第３回実施事業一覧
・別添２　令和８年度第３回実施事業概要（調査計画書（案）の概要）
・別添３　官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

【その他】

・募集情報や過去の実施例等は以下をご覧下さい。
国土交通省 HP「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」
（https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html）

【問合せ先】
国土政策局地方政策課調整室
専門調査官　龍
主査　立川
代表：03-5253-8111（内線 29-914、29-916）
直通：03-5253-8360

令和８年度　官民連携基盤整備推進調査費　第３回実施事業一覧

別添１

	調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
					事業費	国費
1	杵築駅周辺再整備による賑わい創出・交流促進のための基盤整備検討調査	杵築市（きつきし）	大分県杵築市（きつきし）	杵築市は国東半島南部に位置し、大分空港や別府市・大分市の近隣に位置するほか、高速道路網により高い交通利便性を有している。杵築駅周辺地区は市の玄関口として、杵築城下町や国東半島、大分空港方面へのアクセス拠点となっている一方、交通結節機能や滞留・交流機能が不足し、観光客等の受入環境整備や賑わい創出が課題となっている。また、混雑時に送迎車両と公共交通の動線が錯綜するため、利用者の安全確保も求められている。このため、交通結節機能の強化と滞留・交流空間の充実を図り、交流人口の増加や賑わい創出につながる拠点を形成することを目的として、駅周辺再整備に係る調査及び設計を行う。	18,400	9,200
				計１箇所	18,400	9,200

【要領様式２】調査計画書（案）の概要　　【事業費：18,400千円　国費：9,200千円】【実施主体名：杵築市】

杵築駅周辺再整備による賑わい創出・交流促進のための基盤整備検討調査

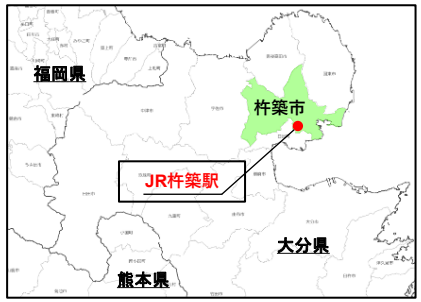
別添２

地域の特徴等

〇杵築市は、大分県北東部の国東半島南部に位置し、東に大分空港、南に別府市・大分市が位置しているほか、大分空港道路や宇佐別府道路、日出JCTを介した大分自動車道により、高い交通利便性を有している。
〇杵築駅周辺地区は本市の玄関口であり、歴史的な町並みが残る杵築城下町や、国東半島地域、大分空港方面へのアクセス拠点となっている。一方で、駅周辺は交通結節機能や来訪者の滞留・交流機能が十分ではないため、観光客等の受入環境の整備や地域資源を生かした賑わいの創出が課題となっているほか、通勤・通学時間帯等の混雑時には送迎車両と公共交通の動線が錯綜するため、駅前利用者の安全確保が課題となっている。
〇このため、駅前広場等の整備を行い、交通結節機能の向上に加えて滞留・交流機能の充実を図ることで、交流人口の増加や賑わいの創出につなげ、本市の玄関口にふさわしい拠点形成を推進することとしている。

【調査箇所：大分県杵築（きつき）市】

位 置 図



地理院地図（https://maps.gsi.go.jp/）を加工して作成

混雑時の駅前広場の様子



駅前の整備イメージ



(1)社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- 令和７年４月　第３次杵築市総合計画の策定
  杵築駅の交通結節機能を強化することを明記
- 令和８年３月　杵築市と㈱サンリオエンターテイメントが包括連携協定を締結
- 令和８年３月　杵築市立地適正化計画の改訂
  杵築駅周辺エリアにおける賑わいの創出や回遊性の向上について明記
- 令和８年９月　JR杵築駅周辺整備基本構想の策定



地理院地図（https://maps.gsi.go.jp/）を加工して作成

(2)民間事業者の活動・新たな投資・予定

- テーマパーク運営事業者による近隣屋外型テーマパークのリゾート化に向けた基本構想の発表に伴う杵築駅周辺の魅力向上に関する取組（令和７年度～）
- 観光協会による観光ツアーの開催（令和13年度～）
- 住民自治協議会による賑わい創出イベント（令和13年度～）
- PPP/PFI事業者による駅前広場、賑わい・交流施設等の整備・管理運営（令和13年度～）

密接な関連性

(3)基盤整備の必要性（現状の課題等）

- 杵築駅の駅前広場は歩車分離や交通の動線の確保が不十分であり、混雑時の利用者の安全確保が課題となっている。
- 市の玄関口としての交通結節機能・交流拠点機能の強化及び、賑わい創出に向け、民間活力を活用した一体的な整備が急務である。

(4)【調査内容】

①杵築駅周辺（駅前広場、駐車場、駐輪場、賑わい・交流施設、アクセス道路等）整備に係る概略設計
（基本的仕様の検討、基本計画図の作成、概算事業費の算出等）

(5)民間の活動と一体的に整備する効果

- 交通結節点としての機能強化や利便性向上
- 杵築駅周辺における持続的な賑わいの創出及び交流拠点機能の形成

官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

国土交通省

別添3

民間の事業活動と連携した自治体のインフラ整備の事業化検討を支援

〇民間の事業活動計画と一体となって推進する事業のうち、地方公共団体が整備するインフラの概略(基本)設計や基礎データ収集、整備効果検討などに必要な調査費を補助。

＜目的＞

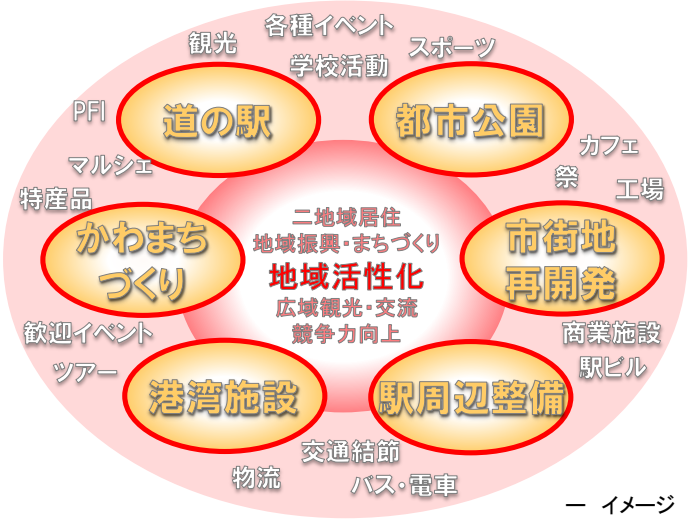
・基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を支援。

・民間の意思決定のタイミングに合わせた機動的な支援により、民間の事業活動と一体となった基盤整備の早期効果発現に寄与。

・民間の活力を活かすことで、地域の個性や強みを活かした社会基盤整備を効果的に推進することが可能。

事業概要

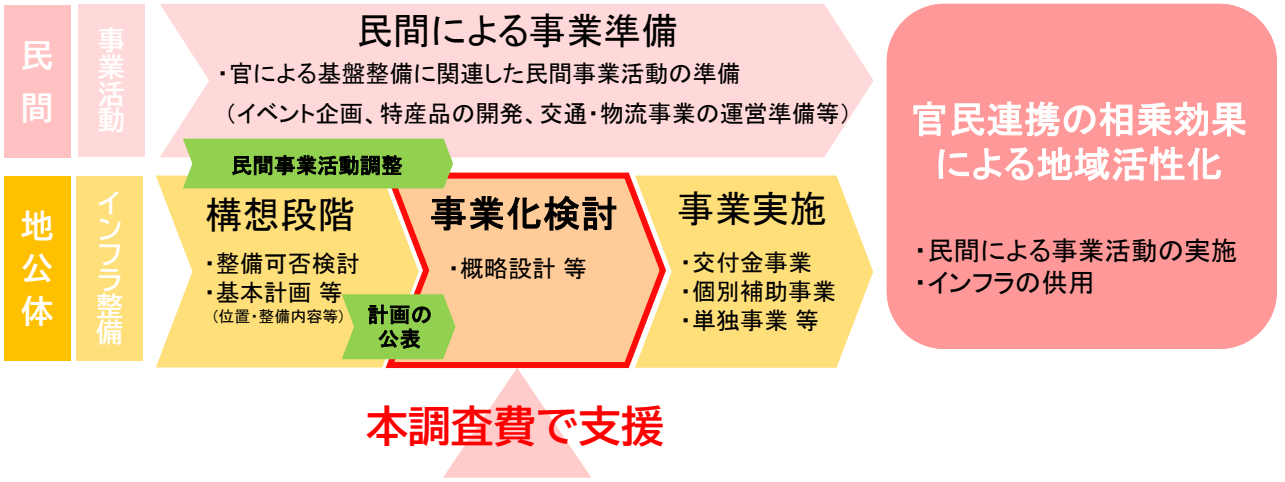
- 対象事業：
  国土交通省所管の社会資本整備事業
  （道路、港湾、河川、公園、市街地整備等）
- 補助対象：都道府県、特別区及び市町村
  （一部事務組合及び広域連合を含む）
- 補助率：1／2以内
- 募集回数：年3回程度



― イメージ ―

支援内容

〇事業フロー



〇支援内容：インフラ整備の事業化検討に必要な調査

① 概略設計 ： 基本的仕様の検討、概略設計図、パース作成、概算事業費算出 等

② 基礎データ収集 ： 概略設計に必要な地形、地質、交通量等の調査 等

③ 整備効果検討 ： インフラ整備による効果、便益、経済効果の検討 等

※ PPP/PFI導入可能性検討（PPP/PFI手法の選定、官民の役割分担、VFMの算定 等）についても関連する調査として上記調査に併せて実施可能